

第1回 宗谷総合振興局管内河川減災対策協議会 議事概要

- 1 日 時：平成29年6月30日(金) 13:00～14:00
- 2 場 所：宗谷総合振興局 4階入札室
- 3 出席者：宗谷総合振興局長、稚内地方気象台長、稚内開発建設部長（代理）、
稚内市長（代理）、猿払村長（代理）、浜頓別町長（代理）、
中頓別町長（代理）、枝幸町（代理）、礼文町長（代理）、利尻町長（代理）
- 4 次第
 - (1) 開会
 - (2) 出席者紹介
 - (3) 会長挨拶
 - (4) 議事
 - ① 「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく減災に関する取組について
 - ② 宗谷総合振興局管内河川減災対策協議会規約について
 - (5) その他
 - ① 稚内地方気象台からの情報提供
 - (6) 閉会
- 5 議事概要
 - (1) 「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく減災に関する取組について
 - ・現状の水害リスク情報の共有や道管理河川における取組状況等の説明
 - ・概ね5年以内で実施する内容を「地域の取組方針」として取りまとめることを確認
 - ・今後のスケジュールの確認
(質問等)
 - Q) 重要水防箇所とは何か。
 - A) 重要水防箇所とは、洪水時に危険が予想される箇所で重点的に点検や巡視が必要な箇所。背後地の状況や堤防の高さ、過去の漏水などを踏まえて設定している。
 - Q) 二級河川もタイムラインを設定していくのか。
 - A) 6月20日に国土交通省から「水防災意識社会の再構築に向けた緊急行動計画」が発表され、都道府県管理河川においてもタイムラインを策定していくことが明記された。現在、本庁において道の取組方針を検討中と聞いており、全道的な方針が示されれば取り組んでいくこととなる。
 - (2) 宗谷総合振興局管内河川減災対策協議会規約について
 - ・水防法等の一部を改正する法律の施行に伴う規約改正（案）の決定
 - ・構成員追加の了承

(3) その他

- ・ 稚内地方気象台から「大雨警報・洪水警報の危険度分布」について説明
(質問等)

Q) どのくらいの精度なのか。

A) 土砂災害は5キロメッシュだが、大雨警報（浸水害）は1キロメッシュ、洪水については河川ごとに分類。雨量の予想を含んでいるので、予想によるブレは生じる。

Q) 警報発表の基準の見直しにより、警報発表頻度は従来より増える傾向にあるのか、減る傾向にあるのか。

A) 細かなメッシュを元にしていてるので頻繁に切り替えが生じ、気象台が発表する総回数は増えるが、それぞれの市町村ごとの発表回数は、減るように作られている。